令和５年度　学校経営計画

１　教育理念　　「つながり合い、学び合う」

・ すべての人が地域の中で自分らしく、つながり合う共生社会の推進に貢献する学校
・ 一人一人の人権・個性を尊重し、自立と社会参加を目指し、仲間と共に学び合える学校

２　学校教育目標　「夢に向かって『いきいき、なかよく、すこやかに』学び、伸びゆく人」

・ 児童生徒一人一人が、自分の「夢や目標に向かって」取り組む姿を大切にする。
・ 学校生活のあらゆる場面で、児童生徒が「いきいき（主体）・なかよく（かかわり）・すこやかに（健康）」取り組む姿を目指す。

３　目標具現化の柱（重点目標は太字）

(1)【安心・安全】
ア 児童生徒が命を守り、多様性と人格を認め合う教育活動の推進
イ 児童生徒が安心安全に生活できる教育環境の整備と教員の対応力向上
ウ 事故や大規模災害等の危機管理体制の強化と情報共有
エ 働きやすい職場環境づくりとたくましい教員集団づくり

(2)【授業】
ア 学習指導要領を踏まえた指導技術や実践力、専門性のレベルアップ。
イ 個別の指導計画に基づいた適切な目標設定と指導実践。
ウ １２年間の成長とつながりを見通した各部における教育課程の見直しと改善。
エ ＩＣＴ教育に対する理解向上
オ 生涯教育につながる教育活動（文化・スポーツ・芸術）の充実

(3)【連携】
ア 社会に開かれた教育課程の実現を目指した、コミュニティ・スクールの実施
イ 自己実現を図るためのキャリア教育の充実
ウ 共生社会の実現に向けた地域・学校・家庭の連携強化

４　本年度の取組

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
安心・安全	**ア 児童生徒の命を守り、お互いの人格と個性を認め合う教育活動の推進**	「生徒指導課」 ・人権チェックの実施と評価の低い項目についての研修の実施（各学部 学期１回） ・資料を基に道徳の年間指導計画の作成と評価（学期末ごと年２回以上） 「小学部」 ・「道徳の日」の設定（月 1回） 「中学部」 ・人権に関する重点目標の掲示（毎月 職員室）	・児童生徒の人権感覚や道徳心を高めることを意識した指導の充実ができたと答える教職員 100%	生徒指導課 各学部

		「高等部」 ・生徒とともに人権合言葉を考え、学部全体に啓発する。（学期１回） 「肢体訪問」 ・人と関わる場面の設定（登下校時、生単、作業時等）		
	イ 児童生徒が安心安全に生活できる教育環境の整備と教職員の対応力向上	「保健給食課」 ・安全点検（毎月） ・ごみの出し方、分別方法の周知と掲示（年度当初） ・食事場所等の清掃、ごみの処理（毎週末） ・『スクールクリーン』の実施（学期末３回） ・感染症予防の手洗い、消毒、換気等の呼び掛け、石鹸、消毒液の配付（随時） ・食物アレルギーの研修 ・嘔吐処理の研修 ・危険予知トレーニング（各年１回、学部ごと実施） ・ヒヤリハットの報告・分析・共有（全体掲示板、学部会等で随時） ・医療的ケア児を知る機会となる研修（年１回） 「生徒指導課」 ・登下校指導（毎日） 「体育課」 ・運動場、体育館、プール等安全点検及び整備（授業前後、学期末） 「各学部、肢体学級」 ・登校前や下校後の教室の安全確認、清掃ごみ捨て等環境整備（毎日）	・児童生徒が安心安全に学校生活を送ることができるよう日常的に環境整備が行えたと答える教職員 100％	保健給食課 生徒指導課 体育課 各学部
	ウ 事故や大規模災害等の危機管理体制の強化と情報共有	「防災教育課」 ・教職員シミュレーション訓練・校外学習時図上訓練（４月） ・第１回引渡し ・第２回地震・津波 ・第３回火災 ・第４回大雨洪水暴風 ・第５回下校時 SB 連絡訓練	・事故やケガ等の緊急時の対応力が向上したと答える教職員 100％ ・大規模災害時における自らの役割を理解し、日頃から実際の動きをシミュレーションしながら勤務ができたと答える教職員 100％	防災教育課 生徒指導課 保健給食課 事務部

		・第６回Ｊアラート ・第７回防災学習の日（12 月） 起震車、消火体験訓練、 災害トイレ設営、 炊き出しの体験訓練等 ・第８回予告なし訓練 ・ふじのくにジュニア防災士講習（高等部のみ） ・参集別防災訓練と分掌防災訓練（7 月末） 「保健給食課」 ・緊急時搬送につながる訓練（学部ごと前期１回以上） 「生徒指導課」 ・スクールバス避難訓練図上訓練（６月） ・スクールバス避難訓練（９月）		
	エ　働きやすい職場環境づくりとたくましい教職員集団づくり	・定時退勤日（毎週水曜日） 「教務課」 ・授業準備の日（毎週金曜日） 「各学部」 ・学年主任、グループリーダーによる授業準備の計画、調整（毎月） ・学年ごとの事務研の確保 「肢体・訪問」 ・学部学年との連絡調整	・日常業務や分掌業務を行う上で~~の~~効果的・効率的な遂行を意識した業務改善に取り組めたと答える教職員 100％ ・教員間の連携や協力体制づくりを意識し、職場の人間関係づくりができたと答える教職員 100％	各学部 教務課
	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
授 業	ア　学習指導要領を踏まえた指導実践力、専門性のレベルアップ	「研修課」 ・授業づくりのポイントを共通理解し、情報交換ができる学部研修実施 （学部ごと毎月） ・助言者や講師を招聘した、授業研究会の実施 （年２回 10 月は全体） ・一人一授業を実施する。 （12 月までに一人１回） 「各学部」 ・授業の振り返り（毎日） 「自立活動課」 ・自立活動学習会（年３回） 調和的発達について （１回）	・日々の指導を振り返りながら児童生徒の気持ちや思いに沿った指導改善ができたと答える教職員 100％	研修課 自立活動課 各学部

		生活上学習上の困難への対応（２回） ・自立活動相談（ST、PT、OT）６月、OT のみ２回目 10 月 ・自立活動に関する個別の相談（随時）		
	イ　個別の指導計画に基づいた適切な目標設定と指導実践	「教務課」 ・個別の指導計画作成に係る年間計画と資料の提示（年度当初） 「小学部・中学部・高等部」 ・個別の指導計画の目標確認（各学年、毎日、毎週、単元ごと） 「肢体・訪問」 ・個別のプロセス図等に基づいた実態把握の実施（年度当初、随時） 「自立活動課」 ・適切な目標設定のための個別のプロセス図作成に関する学習会（年２回、４月、８月）	・個別の指導計画に沿った指導を実践し、目標達成ができたと答える教職員 100％	各学部 自立活動課 教務課
	ウ 12 年間の成長とつながりを見通した各部における教育課程の見直しと改善。	「教務課」 ・年間指導計画作成、検討のスケジュールの提示（年度当初） ・年間指導計画冊子の作成（５月） 「各学部」 ・学年段階における「願う姿」の共通理解（主任者会、各学年、年度当初） ・指導目標、指導内容の見直し（年３回各学期初め） ・指導目標、指導内容の確認検討（学期初め、学年会適時） ・年間指導計画における授業内容の見直し（学年会　学期末）	・学部や学年段階における「願う姿」を意識した年間指導計画の作成と実践・見直しができたと答える教職員 100％	教務課 各学部

	エ　ＩＣＴ教育に対する理解向上	「自立活動課」 ・ｉＰａｄアプリなどに関する学習会（８月全員） ・学習アプリやコミュニケーションアプリ、写真機能、検索機能等、児童生徒の実態に応じた活用事例の学習会と 0JT の実践 （各学部、学年） 「教務課情報係」 ・初心者向け研修 （８月希望者） ・事例紹介研修 （８月、12 月全員） ・ICT 機材の管理と効率的な運用に係る情報提供（通年）	・児童生徒が理解を深めたり気持ちを伝えたりすることに ICT を活用できたと答える教職員 100%	自立活動課 教務課情報係 各学部
	オ　生涯学習（スポーツ、芸術、文化等）につながる教育活動の充実	「小学部」 ・技能、体力に応じたグループ編成からの個々に応じた活動内容や活動量の確保（題材ごと） 「中学部」 ・体育での 10 分間走の実施と周回数の記録（毎日） ・シャトルラン、50M走における定期記録測定の実施 （学期１回） 「高等部」 ・体育での 10 分間走の実施と周回数の定期記録 （月１回） ・昼休みの運動強化月間の実施（５、10 月） ・部活動の月２回以上の実施と大会への参加 「図書表現課」 「小学部、中学部、肢体学級」 ・お話の会の計画と実施 （年８回） ・教室移動文庫の実施 （各学部学期入れ替え） 図書室の利用や、教室の図書環境の充実を促進 ・音楽室と図書室の整備 （使用後、週１回） 「小学部」 ・週１回以上読書やお話の会	・児童生徒の体力の維持向上と日常的に運動に取り組む姿勢が実感できると答える教職員 100% ・表現力や想像力を高めるために、読書や芸術活動（音楽・美術）に取り組める環境を整え、教育活動を推進できたと答える教職員 100%	体育課 図書表現課 各学部

		の設定（朝の会・国語･算数） 「中学部」「高等部」 ・朝読書の実施 （毎日、各学年で設定）		
	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
連 携	**ア　社会に開かれた教育課程の実現を目指した、コミュニティ・スクールの実施**	「地域連携課」 ・つながり学習の学習会の実施、（年２回） 「キャリア教育課」 ・就業促進協議会の実施（年１回） ・事業所一斉説明会の実施（年１回） ・職場開拓及び学校見学（随時） 「小学部」 ・校外学習 （３年生以上年１,２回） ・施設との交流 （３年生以上年間１回） ・居住地校交流 （希望者年１，２回） ・学校間交流 （２年生以上年１回） ・コミュニティ・スクールボランティア先生 （５年生３回） 「中学部」 ・ボランティア先生による指導（年２回） 「高等部」 ・販売会や市場調査の実施 （各作業班年１回） 「肢体・訪問」 ・児童館やボランティア先生、民生委員との交流 （年３回）	・学校周辺の地域における本校の教育活動や児童生徒の理解啓発につながる教育実践ができたと答える教職員 100%	地域連携課 キャリア指導課 各学部
	イ　自己実現を図るためのキャリア教育の充実	「キャリア教育課」 ・キャリア教育に関する学習会の実施(年１回８月) ・他学部交流の実施 （年１回 10～１月希望者） ・進路希望調査やキャリアパスポート、ＣＭマップ等を	・児童生徒の実態や年齢に応じたキャリア教育の実践ができたと答える教職員 100% ・児童生徒の自己選択や自己決定を促す指導の充実が図れたと答える教職員 100%	キャリア教育課 教務課 各学部

		活用した話合いの実施（各学部･学年学期ごと、随時） 「各学部･肢体訪問」 ･付けたい力の確認･共有（学年･学部会） ･進路希望調査とＣＭマップを活用した実態把握。（学期ごと） ・自己選択・自己決定の場面の設定（各学年　学校生活全般で設定） ・自己選択や自己決定ができる学習内容や教材教具、展開、環境設定の実例紹介（各学部 1,2 学期各１回）		
	ウ 共生社会の実現に向けた地域・学校・家庭の連携強化	「地域連携課」 ・校内支援委員会(年２回) ・学部内支援会議(随時) ・外部講師によるカンファレンス(年１回) ・「児童生徒を語る会」の実施(学部ごと年２回) ・スクールカウンセラーの活用(児童生徒・保護者に対して随時) 「各学部」 ・連絡ノートや面談、本人の様子等から早期に生徒、保護者の困り事や問題を把握、迅速な対応をとる ・状況に応じてケース会議、支援会議、語る会を実施し保護者や地域の関係機関と情報や方策の共有（適宜） 「図書表現課、各学部」 ・校外作品展への出展。（年２回） ・HP での作品紹介。（随時） 「教務課」 ・ホームページに公開する情報の整理(各学部年間計画作成)	・必要に応じて地域の関係機関や保護者と連携して課題解決に取り組めたと答える教職員 100% ・地域の方々に向けた作品展や日頃の学習活動を実施して「生徒の理解啓発につながった」と答える教職員 100%	地域連携課 図書表現課 教務課情報係 各学部